

国際交流で身につく力とは

東北学院大学教養学部 稲垣 忠
<http://www.ina-lab.net/>

自己紹介

- 稲垣 忠(いながき ただし)
 - 金沢大学大学院教育学研究科修了
 - 関西大学大学院総合情報学研究科修了
 - 東北学院大学 教養学部 准教授
 - 宮城教育大学 非常勤講師
- 専門は「情報教育」「教育学」
 - 学校間交流学習の授業設計
 - 電子黒板の教育利用
 - 携帯電話の情報モジュール教材の開発
 - 高次思考力を育てる授業デザインと評価



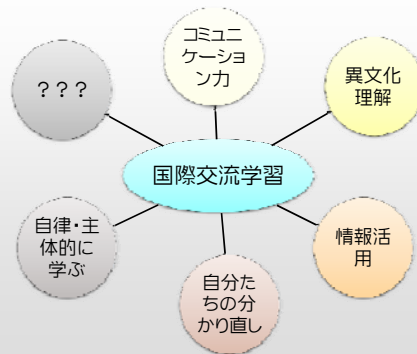
- 担当講義「学びの技法」「教育学」「教育方法」等

ネットワークが子どもたちの学びをどう変えていくのか？

今日の流れ

- コミュニケーション力の育成をめぐる
- 学校間交流学習という学び
- 八崎先生からの実践報告
- 質問コーナー
- 国際交流をはじめするには
- 国際交流の学びの評価について

国際交流学習で学べ(そうな)こと



知識基盤社会で求められる学力のかたち

- PISAの読解力
 - 自らの目標を達成し、自らの知識と可能性を発達させ、効果的に社会に参加するために、書かれたテキストを理解し、利用し、熟考する能力
- DeSeCoが提唱するキー・コンピテンシー
 - 社会的に異質な集団での交流
 - 自律的に活動する
 - 道具を相互作用的に活用する



※PISAはこの一部

「コミュニケーション力」と言われても・・・

- 基礎でもあり高次でもある
 - 学びを支える基礎+自分の考えを外化する論理性
- あらゆる教科・領域で育成可能
 - 国語(伝え合う力)・英語(実践的コミュニケーション)
 - 数学的コミュニケーション・表現科目・総合的な学習
 - アサーション・ソーシャルスキル・道徳(思いやり)
- 情報教育
 - 送り手として手段(メディア)の選択+受け手を意識した表現
- 人間関係を築き・支える
 - 学級経営との密接なつながり

新学習指導要領に向けた動き

- 「言語力育成協力者会議」の設置
 - 教科を横断した言語力育成の指針
 - 「知的活動」「感性・情緒」「他者とのコミュニケーション」
- 小学校段階における外国語活動 (教育課程部会のまとめp.64)
 - また、外国語活動(仮称)の質的水準を確保するためには、まず第一に、国として共通教材を提供することが必要と考えられる。さらに、音声面の指導におけるCDやDVD、電子教具等の活用、**へき地や離島等の遠隔教育及び国際交流におけるテレビ会議システムの利用など、ICTの活用による指導の充実**を図ることも重要と考えられる。

結局、課題は何か？

- **目指す方向**→教科・領域をまたいだコミュニケーション力育成
- **疑問点**→コミュニケーション力を評価する視点のあいまいさ
 - あまりに多義的なコミュニケーション力観
 - 「見えない学力」の典型→パフォーマンス評価の模索
- **現実**→コミュニケーションに意欲的になれる場面の欠如
 - 伝えたい内容をもっているかどうか？
 - 伝えたい相手がいるかどうか？
 - 伝える必然性があるかどうか？

何のために発表するのか、質問するかわからない
 「ちゃんとやること」が大事。伝わったかどうかは関心無い
 コミュニケーション力がついてきたように思うんですね・・・

↓
意味のあるコミュニケーション場面としての交流活動

学校間交流学習とは？

- **定義**
 - 離れた学校と学校をインターネットで結び、子どもたちが掲示板やテレビ会議で交流しながら学ぶこと
- **ポイントは4つ**
 - 生活地域に根ざす
 - メディアの活用
 - 人間関係を組み替える
 - 協同による学びのデザイン

交流学習で使われるメディア

- **電子掲示板**
- **テレビ会議**
- 電子メール
- ブログ・Webページ
- ビデオレター
- 携帯電話
- FAX
- 宅配便(実物・カードなど)
- 対面交流



使えるモノは何でも使う！交流学習

どんな学びが起きるのか？ ～地域の差を活かす

- 鹿折小(宮城)と富田小(宮崎)



アサガオの生長を比較→丁寧な観察・言語化→気づき

どんな学びが起きるのか？～コミュニケーション力を伸ばす

- 相手にしっかり聞き取れるようには**はっきり喋ったり**、相手が出たことを忘れてにメモして**次の質問につなげる**ことをがんばっています。
- 自分と同じチームの質問をよく聞いてそれに**答えること**、相手に教えられたことで分からないことがあったら**どんどん質問**することをがんばりました。
- テレビ会議で色々な友達に出会って話をすることができたり、質問をした時に**返事が戻ってくるのが楽しい**です
- テレビ会議の時は、**内容をはっきり相手に分かってもらうためにちゃんと考える**ようにしています。
- 質問がきた時にすぐに答えられない時に**すごく焦る**し、自分が質問されて、自分分からない事を答えられない時は大変です。



どんな学びができるのか？ ～いっしょに「つくる」と？

- 西郷小(宮城)と富合小(熊本)

4月頃から交流は始まりました。どんな友達がいるのかなあ。どきどきわくわく…。だって初めての交流だからね。

協働のWebサイト制作→相互評価・スケジュール調整→高め合い

どんな学びができるのか？ ～異文化と出会う

アートマイルプロジェクト

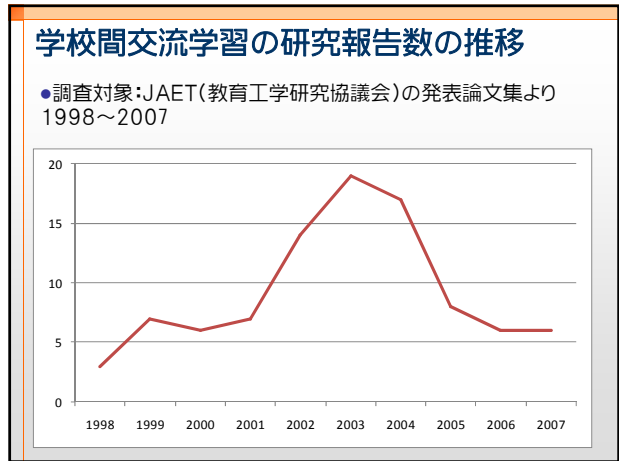
<Our Art Mile>
Theme: "Mixed National Carnival!"

<Syria> <Japan>

テレビ会議、掲示板でお互いの国の様子を伝えあう
→壁画の「共同制作」

交流学习の歴史

- 実践をたどると？
 - 100校プロジェクト(94～)・こねっとプラン(96～)
 - NHKの番組を使った交流(95～)
 - 文化間学習ネットワークCLN(三宅なほみら,1984～)
- 方法をたどると？
 - ジグソー学習、バズ学習などの協同学習法
 - フレネ教育、生活綴り方など作文→交流
 - へき地の交流教育
- 理論をたどると？
 - 社会的構成主義の学習論
 - CSCL/CSCW研究の蓄積
 - 異文化接触・異文化適応の研究



一般には？

ネットが広がる学校間交流
テレビ会議・掲示板での交流が直接交流や特種学交流に発展

遠くの町の友だちと交流!
コンピュータの向こう側にいる友だちと仲よくなるには...

つまり、交流学习を取り入れることで・・・

- 学校間交流学习とは？
 - 生活地域に根ざす・メディアの活用・人間関係を組み替える協同による学びのデザイン
- 学校間交流学习がもたらす学び
 - 伝えたい相手→同年代の知らない相手であること
 - 伝え方の工夫→さまざまな手段+伝わらない実感
 - 人間関係の形成→自己紹介から共同作業の仲間へ
 - 異文化体験→他地域・外国の文化+自分たちの分かり直し

八崎先生の実践を伺ってみましょう

学校間交流学習のタイプ

- 交流体験
 - お互いを知り、仲良くなるのが目的
- 実践報告
 - お互いの学習を深めるために比較・討論
- 共通活動
 - 調査、栽培など同じ活動をして比較
- 協働制作
 - 1つのモノ・企画等をいっしょに作り上げる

たとえばこんなテーマで交流できます。

対象	例
気候・風土	四季・地形・気象、暮らしの工夫
文化	料理、言葉、音楽、祭り、伝統芸能、流行
産業	農業、漁業、工業、商業、地域の名産
暮らし	習慣、風習、校区、学校、家、家族、道具
歴史	人物、史跡、歴史的な出来事、生活史
環境	海・川・湖、森、エネルギー、ゴミ、空気、公園、生物

社会・理科・生活科・表現科目・総合などで

交流学習をつくる3つのポイント

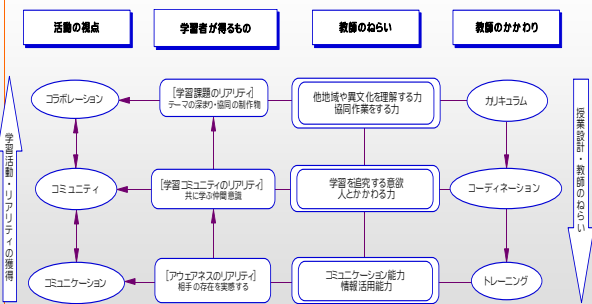
コラボレーション どんなテーマで交流するか？
いっしょにできる活動は？

コミュニティ 相手をどう意識させるか？
仲間意識をどう育てるか？

コミュニケーション どんなツールで交流するか？
話す力・聞く力

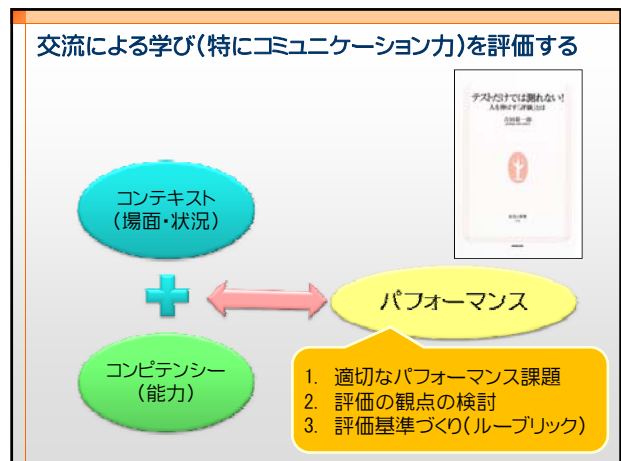
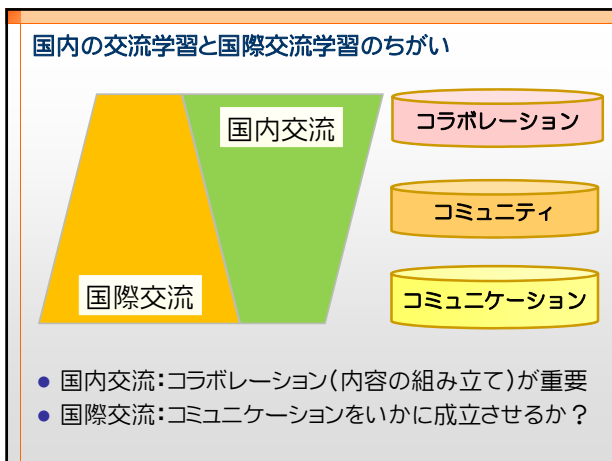
この3層に目配りしながら授業をデザイン

全体像を描く枠組みモデル



配慮点を明らかにする手順モデル

準備段階	1. 交流相手を見つける
	2. 交流の素材・テーマを考える
	3. 交流手段を選び環境を整える
	4. 交流活動を具体化し計画を立てる
	5. ねらいを位置づけ明確にする
実践段階	6. 相手校と出会い、仲間意識を形成する
	7. 学習者のコミュニケーションを点検する
	8. グループと役割分担を工夫する
	9. 関わり合いを生かして追究の質を高める
	10. 振り返りと展開を見通す場面を設ける
前提条件	0. 教師間の連携と周囲への説明をはかる



ルーブリックの例

- 学校の特徴を交流相手に伝える場面のルーブリック
- ビデオ、ラジオ、新聞、ホームページで伝える
- 共通の観点とメディアごとのチェック項目

	S	A	B	C
何を	メディアの特性を意識して取り扱えないもの	〇小にしかないのであるもの	どこの学校にでもあるもの	何を対象としているかわからない。
正しく	昔の資料なども確認して正しい情報を	友だちや先生に確認した情報を	自分なりに根拠が言える	あてずっぽう
わかりやすく	メディアの特性をいかして相手に伝えたいことを工夫している	相手に伝えたいことにしほった工夫	相手に何を伝えたいのかはわかる	ただ並べただけ

- ### 国際交流学習をはじめたら！
- プロジェクトに参加すると・・・
 - 交流相手を紹介してもらえる
 - 交流ツールを提供してもらえる
 - どんな活動をすればいいのかわかる
 - 現在、参加できるプロジェクトは大きく3つ！
 - **アートマイル**: 壁画制作のプロジェクト。目的がはっきりしているので活動を組み立てやすい。
 - **Japan UK Live**: 日本イギリス協会がサポート。翻訳ボランティアつき！
 - **jeam** (ジェイアーン): 世界最大の交流ネットワーク。初心者向けのティビバ交流や課題解決をするLearning Circleなどたくさんのプロジェクトが。

- ### 今日のまとめ
- 国際交流学習で身につく力
 - 位置づけやすいもの: コミュニケーション力・情報活用
 - 位置づけづらいけど: 異文化理解・協同作業・人間関係形成
 - 評価するかどうかに関わらず: 意欲・相手意識
 - 学校間交流学習の授業づくりと評価
 - 3つの階層→枠組み・手順モデル
 - パフォーマンス評価とルーブリック
 - まずははじめてみませんか？
 - 国内交流: 身近な先生と気軽に第一歩！
 - 国際交流: 支援プロジェクトが充実！

続きはこちらで・・・

<http://www.ina-lab.net/special/copo/>